

株主通信 第33期事業報告書

(平成13年4月1日から平成14年3月31日まで)

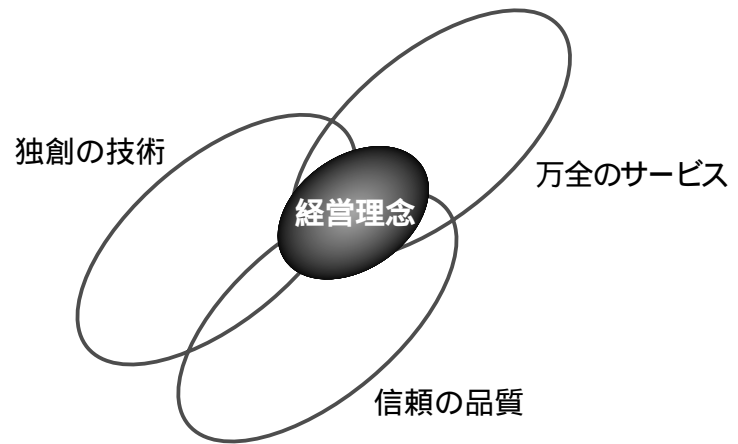
 **メック株式会社**

証券コード：4971

ホームページ：<http://www.mec-co.com/>



社訓『仕事を楽しむ』



ご挨拶

株主の皆様におかれましては益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご支援、ご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社の第33期（平成13年4月1日から平成14年3月31日まで）の事業をご報告するに当りまして、ひとことご挨拶を申し上げます。

私は、このたび社長に就任いたしました前田和夫でございます。私の役割は、当社が継続的な発展を遂げることにより、当社にご関係を持たれる全ての皆様に、常に夢と希望を持っていただけるよう努力することと心得ております。そして、自らの役割と必要な方策を正しく認識し、忠実に義務を遂行し責任を全うする所存です。

21世紀に入り、私たちを取り巻く環境は一層激しく変化しております。私はそのような大きな流れの中で当社が変化に対して迅速かつ柔軟に適応し、持てる経営資源を最大限に活用して企業価値を高められるよう所策を講じ、仕組みを整えてまいります。

目下の経営課題といたしましては、独創の製品を生み出す研究開発力のより一層の強化と、真の国際化への推進を掲げ、役職員ともども社訓である「仕事を楽しむ」を合言葉に、株主の皆様のご期待にお応えできますよう全力を挙げて取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご指導・ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長 兼 最高経営責任者
前田 和夫

営業の経過および成果

当期の売上高は52億28百万円（前期比19.4%減）、営業利益は5億18百万円（前期比53.0%減）、経常利益は5億30百万円（前期比51.7%減）、当期純利益は2億89百万円（前期比54.8%減）となりました。

当社を取巻く経営環境の中で、わが国経済の動向を見ますと、金融不安や経済構造改革の遅れにより本格的な回復軌道に戻り切れず、年初来のIT不況、さらに米国を初めとする世界景気の減速により、企業収益の悪化が加速しました。生産調整の影響で雇用不安が拡大するなど、一段と景気の後退感が強まる状況となりました。一方、海外におきましても、米国同時多発テロ事件の影響から米国経済の失速がアジア、ヨーロッパ経済にも波及し、全ての地域において景気の停滞傾向が鮮明化してまいりました。

また、エレクトロニクス業界は、情報通信機器やデジタル機器の需要が急激に悪化したことに加え、個人消費の冷え込みにより、エレクトロニクス製品市場全般に低迷状況が続いております。このような中、電子基板業界は情報通信機器に用いられる高密度電子基板の落ち込みが顕著に表れました。さらに汎用電子基板は生産拠点の中国への流出が目立つようになりました。

このような環境の下、当社は積極的な海外子会社の再構築に着手しております。電子基板業界の不況が著しい米国においてはMEC USA SPECIALTY PRODUCTS INC.の一時休止を断行いたしました。ヨーロッパに関してはMEC EUROPE NV.の株式所有割合を60%から80%にし結束強化を図りました。また、電子基板業界の成長が鮮明な中国には5番目の海外子会社となるMEC CHINA SPECIALTY PRODUCTS(SUZHOU)CO., LTD.を設立いたしました。営業面においては、電子基板用薬品の新製品開発と販売拡大を重点に取り組みました。新製品開発につきましては、当期間中に18件の新製品の販売を開始し、特許は8件出願いたしました。当期に開発した黒化処理代替プロセスと最先端パターン対応の超粗化剤については、有力顧客の生産工場において評価試験を開始するなど将来の発展に繋がる確かな足掛かりが得られました。また、当期は研究開発棟の増設工事を行いました。これによりさらなる開発力を強化しました。

販売面につきましては、顧客の設備投資意欲の悪化により電子基板用機械の販売が低下し、汎用電子基板用薬品のフラックス剤やメタルレジスト剥離剤等も市場全体の落ち込みにより減少いたしました。その一方でMPU用パッケージ基板用途の銅表面超粗化剤CZシリーズは比較的堅調に推移いたしました。

対処すべき課題

現在の電子基板業界は、情報通信機器分野を中心とする世界的な需要停滞期に入っており、今後の回復見通しも不透明な状況にありますが、当社では現在の状況をさらなる上昇への踊り場であると捉えております。また、国際的な市場構造の変化について見ますと、日本・ヨーロッパ（スペイン、ドイツ、フランス等）・台湾に加えて、中国が世界の生産基地としての様相を強めつつあります。このような状況下において、当社の対処すべき課題は以下のとおりであると認識しております。

新製品販売力と新製品開発力のさらなる強化

当社では、当期においてBOシリーズの黒化処理代替プロセスとCZシリーズ等の最先端パターン対応超粗化剤の新製品販売を開始いたしました。今後は、この有力新製品の早期の普及を図るため、研究・営業・機械の各部門が一体となって、既存顧客に加えて潜在顧客企業に対する本格的なマーケティング活動に注力いたします。

また、研究棟増築工事が平成14年5月に完成し、それを機に研究開発力の一層の強化を推し進めます。これにより、当社が強みを持つ先端基板分野での優位性をさらに高めるとともに、汎用基板向けにコストと使い易さに優れた製品の開発を重点目標とした研究開発にも取り組む方針であります。

海外事業の強化

当期において、当社は中国に第5番目の海外子会社となる新会社を設立いたしました。世界の市場動向は、技術移転によって地域間の技術格差がなくなり、企業間競争も一層激しさを増しております。中国における当社の新設子会社は、このような競争環境を考慮して、開業当初より製品生産と販売機能を兼ね備えた製販一環体制を整えております。これにより、今後もっとも成長が期待される中国での事業展開を強化することが可能となりました。当社の台湾、香港、ヨーロッパ（ベルギー）に中国を加え、世界展開を強化する当社にとって主要地域の市場ニーズにマッチした製品づくりと顧客サポートの徹底を図る所存であります。

研究開発棟増築工事の終了

当社は研究開発の増員に併せ研究棟の増設を行いました。延床面積は既存棟が1,176m²で、増築により3,041m²となりました。これにより現在の研究開発部員37名から60名体制まで対応が可能になりました。



メック中国の完成

当社は、電子基板メーカーの進出が相次ぐ中国に生産・販売拠点であるメック中国を設立いたしました。これにより今後は日本を含む東アジア全域を、ひとつのマーケットと位置付け販売に注力してまいります。



メック中国は2002年3月12日～14日に開催された第11回CPCAショーに出展し多数のお客様の訪問を受けました。

新製品に関して

第33期に当社は18件の新製品を開発いたしました。その中でCZ-8101とBO-7700を紹介させていただきます。

超粗化用マイクロエッチング剤

メックエッチボンド CZ-8101

未処理

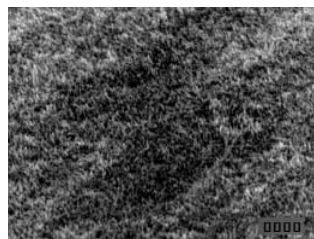


CZ処理

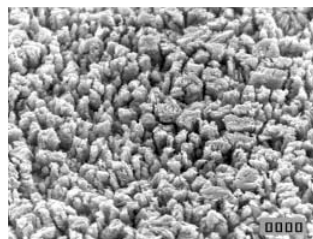
メックエッチボンドは、銅表面に独特の凹凸形状を作り出します。樹脂との物理的密着性を向上させ、パソコンに用いられるCPUパッケージの製造に広く使用されています。当社では新製品としてCZ-8101を開発いたしました。CZ-8101は、これまで以上に微細な配線が必要な最新CPUに用いられるパッケージに採用されております。

黒化処理代替プロセス

BO-7700



黒化処理



BO-7700

黒化処理とは多層電子基板製造で銅と樹脂との密着を得るために全世界で広く使用されている工程の名称です。当社はCZの技術を生かし、性能や使い易さ、環境問題などを考慮した黒化処理に替わるプロセスのBO-7700を開発いたしました。

(上図は黒化処理とBO-7700との表面形状の比較写真です。)

貸借対照表（要約）

科 目	前期（第32期）	当期（第33期）
	平成13年3月31日現在	平成14年3月31日現在
資産の部	千円	千円
流動資産	4,279,573	3,228,515
現金及び預金	1,452,912	1,218,971
受取手形及び売掛金	2,325,911	1,642,641
たな卸資産	125,843	106,354
その他	380,758	261,537
貸倒引当金	5,852	990
固定資産	2,844,590	3,237,118
有形固定資産	1,840,473	1,955,525
無形固定資産	33,695	34,115
投資等	970,421	1,247,476
資産合計	7,124,163	6,465,634
負債の部		
流動負債	2,356,604	1,371,285
支払手形及び買掛金	801,720	447,945
賞与引当金	99,600	101,200
その他	1,455,284	822,139
固定負債	614,770	876,440
社債	200,000	200,000
長期借入金		200,000
役員退職慰労引当金	414,770	476,190
その他		250
負債合計	2,971,374	2,247,725
資本の部		
資本金	566,142	594,142
法定準備金	466,916	509,916
剰余金	3,090,863	3,081,135
評価差額金	28,867	32,715
資本合計	4,152,788	4,217,909
負債・資本合計	7,124,163	6,465,634

損益計算書（要約）

科 目	前期（第32期）	当期（第33期）
	平成12年4月1日から 平成13年3月31日まで	平成13年4月1日から 平成14年3月31日まで
	千円	千円
売上高	5,475,792	3,945,039
売上原価	2,587,099	1,782,668
売上総利益	2,888,692	2,162,370
販売費及び一般管理費	1,974,684	1,868,988
営業利益	914,007	293,382
営業外収益	73,130	62,054
営業外費用	83,553	67,778
経常利益	903,584	287,659
特別利益	16,425	1,941
特別損失	51,854	32,410
税引前当期利益	868,155	257,190
法人税、住民税及び事業税	380,000	131,361
法人税等調整額	27,850	24,900
当期利益	516,005	150,729
前期繰越利益	272,052	329,878
当期末処分利益	788,058	480,607

利益処分計算書

摘 要	金 額
	千円
当期末処分利益	480,607
任意積立金取崩高	
特別償却準備金取崩高	248
計	480,856
利益処分額	
利益配当金	76,392
任意積立金	
別途積立金	200,000
計	276,392
次期繰越利益	204,463

連結貸借対照表（要約）

科 目	前期（第32期）	当期（第33期）
	平成13年3月31日現在	平成14年3月31日現在
資産の部	千円	千円
流動資産	4,852,348	4,062,609
現金及び預金	1,703,571	1,770,381
受取手形及び売掛金	2,523,157	1,803,747
有価証券	272,694	100,083
たな卸資産	223,335	219,162
繰延税金資産	56,705	41,620
その他	83,888	136,325
貸倒引当金	11,004	8,710
固定資産	2,814,127	3,063,403
有形固定資産	2,060,281	2,148,429
建物及び構築物	774,482	704,397
機械装置及び運搬具	363,536	242,087
工具器具及び備品	106,210	102,463
土地	793,556	795,663
建設仮勘定	22,495	303,817
無形固定資産	33,695	82,177
投資等	720,150	832,795
繰延資産		3,199
資産合計	7,666,476	7,129,211
負債の部		
流動負債	2,657,211	1,666,906
支払手形及び買掛金	899,941	535,181
短期借入金	840,797	754,265
未払法人税等	215,499	58,170
賞与引当金	99,600	101,200
その他	601,372	218,088
固定負債	689,748	907,590
社債	200,000	200,000
長期借入金	22,913	218,408
役員退職慰労引当金	414,770	476,190
その他	52,065	12,992
負債合計	3,346,960	2,574,497
少数株主持分	34,861	36,508
資本の部		
資本金	566,142	594,142
資本準備金	418,358	446,358
連結剰余金	3,298,705	3,439,359
その他有価証券評価差額金	28,867	32,715
為替換算調整勘定	27,419	5,630
資本合計	4,284,654	4,518,205
負債、少数株主持分及び資本合計	7,666,476	7,129,211

連結損益計算書（要約）

科 目	前期（第32期）	当期（第33期）
	平成12年4月1日から 平成13年3月31日まで	平成13年4月1日から 平成14年3月31日まで
	千円	千円
売上高	6,483,277	5,228,534
売上原価	3,002,708	2,336,931
売上総利益	3,480,568	2,891,602
販売費及び一般管理費	2,377,929	2,373,307
営業利益	1,102,639	518,295
営業外収益		
受取利息・受取配当金	13,056	15,102
その他	87,925	67,282
計	100,982	82,384
営業外費用	107,285	70,666
経常利益	1,096,337	530,013
特別利益	15,723	2,440
特別損失	51,938	43,679
税金等調整前当期純利益	1,060,121	488,774
法人税、住民税及び事業税	426,243	214,524
法人税等調整額	20,081	10,614
少数株主利益	13,652	
少数株主損失		4,261
当期純利益	640,308	289,127

連結剰余金計算書

科 目	前期（第32期）	当期（第33期）
	平成12年4月1日から 平成13年3月31日まで	平成13年4月1日から 平成14年3月31日まで
	千円	千円
連結剰余金期首残高	2,746,407	3,298,705
連結剰余金減少高		
配当金	45,228	100,456
役員賞与	42,781	48,016
計	88,010	148,472
当期純利益	640,308	289,127
連結剰余金期末残高	3,298,705	3,439,359

連結キャッシュ・フロー計算書（要約）

科 目	前期（第32期）	当期（第33期）
	平成12年4月1日から 平成13年3月31日まで	平成13年4月1日から 平成14年3月31日まで
	千円	千円
営業活動によるキャッシュ・フロー	724,432	682,677
投資活動によるキャッシュ・フロー	566,410	872,639
財務活動によるキャッシュ・フロー	436,905	63,804
現金及び現金同等物に係る換算差額	10,895	28,664
現金及び現金同等物の増加額	605,822	225,101
現金及び現金同等物の期首残高	828,688	1,434,510
現金及び現金同等物の期末残高	1,434,510	1,209,409

会社概要

会社概要 (平成14年6月25日現在)

商号 メック株式会社
本社 兵庫県尼崎市昭和通3丁目95番地
アマックスビル
会社設立 1969年5月1日
資本金 594,142,400円
代表者 代表取締役社長 前田 和夫
事業内容 電子基板製造用薬品、機械装置及び
各種資材の製造販売

役員

取締役会長	前田 耕作
代表取締役社長	前田 和夫
専務取締役	内野 登一
取締役	平川 洋一
取締役	三田 明
取締役	溝口 芳朗
取締役	石井 正人
取締役	神田 寛
取締役	松下 太郎
取締役	牧 善朗
常勤監査役	坂本 幸雄
常勤監査役	藤山 正人
監査役	正田 武

事業所

東京営業所
東京都立川市栄町6丁目1番1号 立飛ビル7号館7階
TEL.(042)538-1080(代) FAX.(042)538-1090
新潟営業所 / 長岡工場
新潟県長岡市西陵町221番地36
TEL.(0258)47-2490(代) FAX.(0258)47-2492
西宮工場
兵庫県西宮市鳴尾浜2丁目1番19号
TEL.(0798)46-8588(代) FAX.(0798)46-8688
研究所
兵庫県尼崎市東初島町1番地
TEL.(06)6401-8170(代) FAX.(06)6401-8172

海外子会社

MEC TAIWAN CO., LTD.
15 Nei-Hsi Street, Nei-Tsuoh Village
Lu-chu County Taoyuan Hsien, Taiwan 338 R.O.C.
TEL: 886-3-324-3455 FAX: 886-3-324-5228
MEC EUROPE NV.
Kaleweg 24-26, B-9030 Gent, Belgium
TEL: 32-9-216-7272 FAX: 32-9-216-7270
MEC (HONG KONG) LTD.
Uint 02, 6/F., Grandtech Centre, 8 On Ping
Street, Siu Lek Yuen, N. T., Hong Kong
TEL: 852-2690-2255 FAX: 852-2690-2262
MEC CHINA SPECIALTY PRODUCTS(SUZHOU)
CO.,LTD.
No.155 Suhong Xi Road, Suzhou Industrial Park,
Jiangsu 215021 China
TEL: 86-512-6745-1990 FAX: 86-512-6745-1993

株式状況

株式状況 (平成14年3月31日現在)

発行済株式の総数 5,092,848株

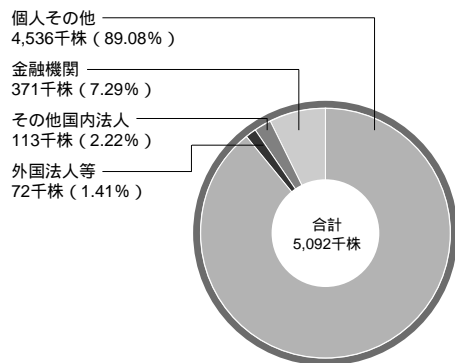
株主数 481名

大株主 (上位10名)

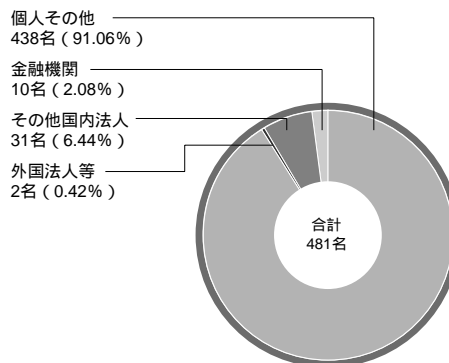
株主名	当社への出資状況	
	持株数 (千株)	持株比率 (%)
前田耕作	736	14.47
川邊豊	662	13.01
小林義雄	644	12.66
小垣守	594	11.66
腰高修	431	8.46
メック従業員持株会	308	6.05
前田和夫	160	3.14
株式会社三井住友銀行	80	1.57
エディデリック	70	1.37
株式会社UFJ銀行	64	1.25

株式分布状況

< 持株数別株式分布の状況 >



< 所有者別の株主数 >



郵便はがき

料金受取人払

660-8790



差出有効期間
平成14年12月
31日まで
(切手不要)

兵庫県尼崎市昭通通3丁目95番地

アマックスビル

メック株式会社

社長室 行



お差し支え無ければお名前等をお知らせ下さい。

お名前							様
ご住所	〒 -						
電話	()	性	1.男性	年	満	ご	
話	-	別	2.女性	齢	才	職業	

株主メモ

- 決算期 毎年3月31日
- 定時株主総会 毎年6月
- 1単元の株式数 100株
- 配当金受領株主確定日 3月31日
中間配当を行う場合は9月30日
- 基準日 定時株主総会については3月31日、その他必要ある場合はあらかじめ公告する一定の日
- 名義書換代理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番3号
UFJ信託銀行株式会社
- 同事務取扱場所 〒541-8502
大阪市中央区伏見町3丁目6番3号
UFJ信託銀行株式会社
大阪支店証券代行部
電話 06(6229)3011
株式関係のお手続き用紙のご請求は、次のUFJ信託銀行株式会社の電話及びインターネットでも24時間承っております。
電話(通話料無料) 0120-24-4479 (本店証券代行部)
0120-68-4479 (大阪支店証券代行部)
インターネットホームページ
<http://www.ufjtrustbank.co.jp/>
- 同取次所 UFJ信託銀行株式会社 全国本支店
- 公告掲載新聞 日本経済新聞
- 決算公告は、掲載いたしません。弊社ホームページ(<http://www.mec-co.com/jp/zaimu/>)をご覧ください。
- 上場証券取引所 大阪証券取引所ナスダック・ジャパン市場
- 証券コード 4971

MMEC メック株式会社

本社

〒660-0881 兵庫県尼崎市昭通通3丁目95番地
アマックスビル
TEL.(06)6414-3451(代)
FAX.(06)6414-3455

ホームページもご覧ください



<http://www.mec-co.com/>